

(仮称) 出雲市観光基本計画 骨子 (案)

第 1 章 計画策定の趣旨

1. 観光振興の意義

- ・ 人口減少や高齢化が進展する中、観光客による消費獲得（波及効果）が地域の経済活動の維持・発展に不可欠
- ・ 地域課題への貢献（中山間振興、公共交通維持、店舗の維持など）
- ・ 地域資源の保存・継承、価値の再認識、愛着と誇りの醸成

2. 計画策定の目的

- ・ 観光振興により目指すべき地域の将来像の議論・共有
- ・ その実現に向け必要な取組、あるべき体制の方向性の議論・共有
- ・ KPI の設定と PDCA サイクルの確立（指標データの取得含む）

3. 観光振興により目指す地域の将来像

- ・ 三方良しのまちづくり（地域住民、産業・事業者、観光客がどのような姿になっていることを目指すか）

4. 計画の位置づけ・計画期間

- ・ 位置づけ：出雲市総合振興計画「出雲新話 2030」（計画期間 R4～R11 年度）を上位計画とする観光分野の個別計画
- ・ 計画期間：R7～R11 年度（5 年間）

第 2 章 出雲市観光の現状と課題

1. 観光を取り巻く状況

(1) 旅行市場の動向・変化

- ・ 国内旅行・インバウンドの状況
- ・ 旅行市場の変化（個人客へのシフト、デジタル化の進展、環境や自然・アクティビティへの関心の高まり、インバウンドの訪日意向の高まり、高付加価値旅行市場の状況）

(2) 国の観光施策の方向性（観光立国推進基本計画（R5～R7 年度）の方針）

- ・ キーワード：持続可能な観光、消費額拡大、地方誘客促進
- ・ 主な施策：観光分野の DX 推進、観光産業の再生・高付加価値化（生産性向上）、DMO 等担い手の育成、インバウンドの地方誘客

2. 出雲市観光の現状と課題

(1) 観光動態等

- ・ 入込客数・宿泊客数・消費額の推移
- ・ 繁閑（月別宿泊客数の変化）

令和 6 年 6 月 6 日(木)

- ・ 宿泊施設数・客室数等の推移
 - ・ 周遊性（市内訪問箇所数推移、エリア別の入込客数推移）
 - ・ 外国人宿泊客数の推移
 - ・ 観光客の特性（年代・性別・旅行形態、居住地（インバウンドは利用空港等含む）、来訪回数、満足度、他者推奨意向、情報収集方法、交通手段）
- （2）これまでの施策・出来事の振り返り
- ・ 観光基本計画（H21～H30）の基本方針別に主な取組・出来事を振り返り
 - （基本方針 1）滞在力・拠点性のある観光地づくり
 - （基本方針 2）周遊力・テーマ性のある観光地づくり
 - （基本方針 3）情報発信力・出雲ブランドを発信する観光地づくり
 - （基本方針 4）事業推進力・おもてなしのある観光地づくり
- （3）出雲市観光の課題 ※イメージを仮で記載
- ① 観光振興の将来のあるべき姿の議論・共有、長期的な戦略・プランの策定、KGI・KPI が設定されていない＜目標の視点＞
 - ② データ分析に基づくマーケティングやメディア戦略など、ビジネスのノウハウが活かされていない＜手法の視点＞
 - ③ 観光ルートやコンテンツの定番化、体験・ふれあい・食・季節のコンテンツが不足。資源の整理ができていない＜商品＞
 - ④ 観光の担い手・人材や、育てる仕組み・場が不足。市民の理解や意識醸成が不十分。このため民間の巻き込み力や推進力が弱い＜主体＞

第 3 章 目標とのための戦略

1. 目標と KGI、KPI

- （1）目標
- （2）KGI（候補）
- ・ 観光消費額（出雲市来訪者の県内消費額）、宿泊客延べ数、入込客延べ数
※出雲新話 2030 の基本目標：交流人口チャレンジ 1 億人（8 年間）
 - ・ 来訪者満足度
 - ・ 住民満足度等（新規調査検討）
- （3）KPI（候補）
- ・ 観光消費額（出雲市来訪者の県内消費額）、宿泊客延べ数、入込客延べ数（再掲）
 - ・ リピーター率
 - ・ 観光消費額単価（宿泊・日帰りの平均値）
 - ・ 市内訪問箇所数、各エリアの入込客数
 - ・ 繁忙期に占める閑散期の割合
 - ・ 外国人宿泊客延べ数

2. 戦略 ※イメージを仮で記載

(1) 総合観光戦略

- ・ 観光戦略会議を開催し観光基本計画を策定、検証

(2) DX・マーケティング戦略

- ・ デジタル化による的確なターゲティング(顧客ニーズ調査・分析・マーケティング)、旅マエ・旅ナカ・旅アトのシームレス化
- ・ マーケティング力強化により稼ぐビジネスプラン造成(着地型旅行商品の開発と流通環境プラットフォーム(地域一括予約サイト)整備)

(3) おもてなし戦略

- ・ 地域資源の発掘・整理・商品化、周遊観光の仕掛けづくり、土産・特産品開発

(4) プロモーション・イメージ戦略

- ・ 各種メディアの効果的な活用、交通手段とのタイアップ、PR・アプローチ手法
- ・ 総合的なイメージ・出雲プライドを継続配信

(5) 人・体制づくり戦略

- ・ 効果的な連携体制・役割分担や組織体制充実の将来像と、持続可能な体制づくり
- ・ 観光人材(牽引リーダー、地域コーディネータ、ガイド等)養成
- ・ シビックプライドの醸成
- ・ 地域パートナー・企業とのマッチング

(6) 観光資源の維持・継承

(7) 受入基盤整備(交通、施設等の基盤整備、渋滞対策等)

3. 推進体制・PDCA サイクル

(1) 各主体に求められる役割

(2) 官民連携して戦略を展開するための進め方・ロードマップ

(3) 進捗管理の実施方法

第4章 地域戦略と地域づくり

※地域戦略会議の状況を踏まえ計画に盛り込む内容等を今後検討(イメージ)

1. 出雲市の観光資源の特徴

2. エリア別の観光資源・滞在価値

3. エリア別の現状と課題・取組の方向性